

from ボランティアセンター

ボランティアセンター

月～金曜日 午前8時半～午後5時15分



042-475-0739

災害ボランティア情報:ホームページ、メール配信にて随時お知らせしています。

お知らせ

令和4年度 ボランティア保険・行事保険

ボランティア保険は、ボランティア活動中の「傷害」と「賠償責任」の2つの補償をセットにした保険です。年間保険料は350円から。加入時には氏名、住所、電話番号が必要です。社協事務局(わくわく健康プラザ2階)もしくは中央町地区センターで加入できます。

保険期間は令和4年4月1日～令和5年3月31日の1年間です。(中途加入の方は加入手続き完了日の翌日午前0時から令和5年3月31日まで)

また、市民活動団体が主催するイベントでの「傷害補償」と「主催団体の賠償責任補償」がセットになった「行事保険」、当日までに参加者の特定が難しい、子ども食堂などの活動を対象にした「行事保険(当日参加対応型)」も取り扱っています。

※**今年度から行事保険の保険料が変わります。**必ずパンフレットをご確認いただき、金額に誤りがないようお振り込みください。

※おつりの用意はありませんので必ず事前にご用意をお願いします。

報告

新たに災害用備品を購入しました

社協では、災害が発生した際に、市からの要請に基づき災害ボランティアセンターを開設・運営します。

このたび、工事用のLED投光機を購入しました。ケース付きで持ち歩けるので、暗所作業を安全に行えます。また、以前購入したポータブル電源と組み合わせれば、電源のない屋外でも使用可能です。



点灯の様子をYouTubeに公開しているのでご覧ください。

<https://bit.ly/34zygis>



YouTube

社協が行う防災への取り組みは、社協ホームページ内「災害への取り組み」をご覧ください。

<https://bit.ly/3dxcnrf>



募集

地域の困りごとを解決するアイデアを募集します

令和4年度 地域協働事業

各種団体(ボランティア団体、市民活動団体、福祉施設等)と社会福祉協議会がお互いの強みを活かして「地域の困りごと」に対し、一緒に取り組むとともに、実施にかかる費用の一部を助成します。

詳細はボランティアセンターまでお問い合わせください。

過去に実施した地域協働事業の例

●避難所運営訓練in西中(平成30年度)

〈主催〉西中学校を避難所とする地域連絡会、東久留米市社会福祉協議会
〈助成金額〉44,170円

実施後の団体の感想:

社協と一緒に滝山しおん保育園を訪問。災害時の訓練等についても意見交換。西中の訓練にも参加していただき、福祉施設との連携の一步を踏み出すことができた。



参加者で協力して段ボールベッドを組み立てる様子

●聞こえのサポーター講座(令和元年度)

〈主催〉聞こえに困っている人とサポーターの会「ひよこ」、東久留米市社会福祉協議会
〈助成金額〉12,175円

実施後の団体の感想:

一団体単独での開催は難しかったが、様々なノウハウを持つ社協との協働により、初めてでも何とか無事に終えることができた。



講座当日の様子

●にじメディア上映イベントVol.1~4(令和2年度)

〈主催〉にじメディア制作委員会、東久留米市社会福祉協議会
〈助成金額〉50,000円

実施後の団体の感想:

社協でないとなかなか難しい、学校教育機関や銀行など、今まで宣伝したくてもできなかったところに宣伝することができ、今後の広がりを期待することができました。



Vol.1の上映会場の様子
(Vol.2~4は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでのみ実施)

〈地域福祉コーディネーター事業〉

市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に担当職員1名を配置しています。

生活の中での悩みや困りごと、地域の中で感じていることや気になっていることなど、自分だけではなくお知り合いのことでも結構です。地域の皆さまと協力して解決に向けたお手伝いをします。

【連絡先・問い合わせ】
市地域福祉コーディネーター(社会福祉協議会 ボランティアセンター)
☎ 042-475-0739 ☎ 042-476-4545

ご案内 お話を聞くだけでもかまいません お気軽にご参加ください
～ひがしくるめ ひきこもり家族会準備会～

家族が学校にいけない、家にこもっている、仕事をしていない、関わり方がわからない...悩んでいるのはあなただけではありません。同じ悩みを抱える方向士が思いを語り、安心してつながれる家族会の立ち上げを支援します。

日時 場所 いずれも午後2時～4時(午後1時45分受付、入退室自由)
4月10日(日) 5月15日(日)
6月12日(日) 7月10日(日)
／会場:八幡町地区センター(八幡町2-7-61)
8月14日(日) 9月11日(日)
／会場:東久留米市役所7階701会議室(本町3-3-1)

【対象】ひきこもり状態にある本人または家族
【定員】20人(各開催日の4日前までに申し込み)
【内容】参加者同士の交流
【参加費】無料
【申し込み】申込フォーム、電話、ファクス、メールにて①氏名(ふりがな) ②年代 ③連絡先をお知らせください。



申込フォーム

上記イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。最新の情報は社協ホームページをご覧ください。

〈参加者の声〉

★当事者の方とお話ができて大変参考になりました。
★他の人の気持ちとか聞けて良かった。自分の気持ちが話せた。
★支援者がいて心強く思った。

募集 フードドライブ窓口のご案内
地区センター・地域センターに食品等をお寄せください

ご家庭で使う予定のない食品等を持ち寄り、必要とする方にお渡しします。皆さまのご支援をお待ちしています。



【実施団体】東久留米フードパントリーひよこ(関連記事4面)
【受付場所】東久留米市5地区センター(中央町、浅間町、野火止、八幡町、南町) 3地域センター(西部・東部・南部) 詳しくは二次元コードの地図を参照
【受付時間】地区センター 火曜・祝日以外 午前9時から午後5時
【受付期間】3月16日(水)～4月24日(日)
【条件】賞味期限が明記されていて6月5日以降のもの、未開封で包装や外装が破損していないもの、生鮮食品以外のもの、常温保存が可能なもの
【対象食品等】海苔やお米、うどんやパスタなどの乾麺、缶詰、インスタント・レトルト食品、コーヒーやお茶、アルコール類を除く飲料など。その他日用品(文房具や新品タオル、生理用品など)も募ります。

【連絡先・問い合わせ】☎ 080-5652-1057 (田守) (午前9時～午後5時)
☎ 080-2007-3558 (古谷) (午後7時以降)



報告

誰もが差別や排除をされず、お互いに声をかけあい、困りごとを解決する地域づくりに向けて

令和4年度小地域福祉活動実施計画の策定

社協では、小さな困りごとを地域で解決できるように、市内3地域(東部・中部・西部)に担当職員(コミュニティ・ソーシャルワーカー)を配置し、解決すべき課題を明らかにした上で関係機関や行政とも役割分担をしながら計画的に課題解決に取り組めます。

○東部 住民の今ある困りごとをもとに、地域内の社会福祉法人との相互協力に向けた関係づくりをすすめる。(大門町)
○中部 地域で孤立している人(世帯)に対し、社会(地域)とのつながりを持ってもらうとともに、適切な相談先が見つかるように支援する。(中央町、幸町、南町)
○西部 第九小学校避難所の地域のニーズを調査し、地域住民と共有するための地域福祉懇談会を行う。(滝山)

【問い合わせ】小地域福祉活動 担当 ☎ 042-475-0739



各事業計画はホームページで閲覧可能です。

みんなの助け合い♥支え合いで住みよい街へ
「ふれあいサービス」

協力会員募集!

「困ったときはお互いさま」で行う社協会員相互の助け合い活動です。高齢や障がい、産後などで日常生活を営む上で困りの方に、家事の手伝いをしてくださる方を募集しています。ひとり暮らしの高齢者宅で食事づくり、コロナ禍で親族が手伝いに来られない家庭の産後の家事援助の相談が増えています。週1回1時間など、手の空いた時間で地域福祉の活動にご協力ください。

◆条件 18歳以上で心身ともに健康で当事業の主旨に賛同する方

◆内容 提供できる内容を選んで登録します。食事の支度、衣服等の洗濯・つくり、住居の掃除・整理、生活用品の買物、お話し相手・朗読・代筆、外出・通院付き添い、その他

◆協力会員登録の流れ

まずは、電話で資料請求をしてください。郵送資料をご確認の上、電話にてご相談と詳細説明(30分程度)、登録手続きの来所日を予約します。

◆謝金

平日	月曜日から土曜日 午前9時～午後5時	800円/時間
時間外	上記以外の時間 日曜日・祝日・年末年始	1,000円/時間

◆年会費 登録時に社協年会費が必要です。(正会員1,000円以上)

◆その他 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、緊急事態宣言の期間は活動を中止することがあります。

◆活動例

●Aさん宅の食事づくり

前週に相談した献立の食材は、利用会員のAさんが近所のスーパーで買って用意します。協力会員は、リクエストの肉じゃがと卵焼き、具沢山の味噌汁、ほうれん草のおひたしを作りました。高齢の一人暮らしで自炊が大変になってきたAさんは、週1回の料理をとても楽しみにしていて、その日は普段より食が進むと言ってくださいます。

●Bさん宅の産後の家事援助

コロナ禍で里帰り出産ができなかったBさん。協力会員は、Bさんが退院してから部屋の掃除と野菜を切るなど調理の下ごしらえ、時々Bさんのお昼ご飯を作りました。赤ちゃんの成長を一緒に見守りながら週2回1時間ずつのお手伝いは、生後3か月までの予定でしたが、Bさんの産後の回復が思ったよりも順調で、予定より早く活動を終了しました。

【問い合わせ】ふれあいサービス ☎ 042-473-0294